



秋たけなわ！授業参観日の来校、ありがとうございました。

「たけなわ」というのは、今がいちばん盛んなときですということを表すことばです。

1年の四つの季節の中で秋だけにこの「たけなわ」ということばが付きまします。それだけ、秋は今が盛りという時期を楽しめるということなのでしょう。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋・・・「秋たけなわ」の今を楽しみたいですね。

さて、本校では、11月5日（土）に授業参観及び人権講演会、そして、図工科作品展を開催しました。たくさんの保護者、地域の方に、本校へ足を運んでいただき、とても、嬉しく思いました。秋たけなわ、学校は、大変充実した一日となりました。誠にありがとうございました。



1年生：生活科
「学校林で集めたもので作ったよ」



2年生：生活科
「わたしの作った遊び道具」



3年生：総合的な学習の時間
「学校林たんけんたい」



4年生：総合的な学習の時間
「防災探検隊・防災マップ」



5・6年生：音楽
合唱「大切なもの」



それぞれの学年で取り組んできたことの発表が行われました。入学、進級してから半年を経た子どもたちの姿は、いかがだったでしょうか。

みつけたよ!! かがやき
キラリ!!

この日にむけて、発表の内容だけでなく、発表の仕方を工夫してきたことが感じられ、素敵だと思いました。話し方に気をつけることは勿論、1年生では実物投影機を使い、2年生は、写真を撮ってプロジェクターで映し出して発表していました。3年生は、子どもたち自身がタブレット（発表ノート）を上手に使っていました。少しずつですが、ICT機器が子どもたちの学習の道具となってきたのを感じました。

体育館の舞台上で堂々と発表をした4年生は、その後ポスター発表形式で、参観者から直に質問も受けていましたね。資料の使いながらわかりやすく伝える力は、将来に向けて大切な力となるでしょう。

5、6年生の合唱、マスクをしているのに声量があり素敵な歌声でした。感動しましたよ。

「みんなちがって みんないいになるために」

～人権出前授業・人権講演会～

11月5日（土）は、八郷地区人権まちづくり推進協議会との共催で、公益財団法人反差別・人権研究所みえ（ヒューリアみえ）の研究所員 安田賢行先生を講師にお招きし、「みんなちがって みんないいになるために」というテーマで高学年への出前授業（2限目）と人権講演会（3限目）を行いました。



私は、友達がどう思っているかを考えずに言ったりしているの、考えてから言ったり、行動をとりたいたと思います。（4年生）



「みんなちがって、みんないい」というクラスはみんながおたがいのことをほめ合えるクラスだと思うので、少しでもそれに近づいていけるようにいやなことはいやだときちんとやって、うれしいと思える言葉を言い合っていけたらいいなと思いました。（6年生）

場合によっては、きずつけられる人になったり、きずつける人になったりするんだなと思いました。人をきずつけない人になりたいです。（5年生）

5年生は、体育館で対面授業、4年生、6年生は教室でZOOMによるオンライン授業でしたが、どの学年も安田先生からの問いかけを真剣に聴き、考え合っていました。



1～3年生でも、2限目は、暴れているくまさんのイラストを教材にして、それぞれの教室で人権学習を行いました。

《授業の振り返りから》

- ・どうぶつさんたちが「入ったらダメ」っていわなかったら、くまさんは やさしかったとおもいました。（1年生）
- ・分かったことは、やっぱりきめつけちゃうのは、ダメだとわかりました。考えたことは、聞くのが大事と思いました。けんかを見たらどうするかは、まず聞くということだと思います。（2年生）
- ・おこったことには、ちゃんと理由があるんだなと思いました。（3年生）

3限目の人権講演会にも多くの保護者・地域の方に参加していただき、ありがとうございました。感想の一部をご紹介します。

- ・「あたりまえ」や「ふつう」「見てないこと」「見えてないこと」改めて考えさせられることが多かった。（地域の方）
- ・正しい答えってないのかもしれませんが、我が子には、どんなときでも思いやる気持ちを忘れずに、優しい、人に寄り添えるようになってほしいなあと感じました。（保護者）

「みんなちがって、みんないい」となるために、6年間という時間を大事に使っていきたいと思います。

